

9月25日(水)

稲刈り

5月に田植えをした学校田も、二上営農組合の岩田さんや沙魚川さんのお世話のおかげで、実りの季節を迎えました。9月25日の稲刈りには、前回同様、お忙しい中、地域の方々が多数お手伝いに来てくださいました。3年生と5年生の子どもたちも、汗を流しながら一生懸命に作業を行いました。

お手伝いに来てくださった地域の方々です。はじめに、稲刈りの仕方を営農組合の沙魚川さんに教えてもらいました。



あんなに小さかった苗が育ち、たくさんの実をつけています。地域の方に教えてもらいながら、子どもたちも一生懸命に作業をしました。



5年生は笠懸をするため、稲の束の縛り方を教えてもらいました。



刈り取った稲をコンバインに運ぶお手伝い。たわわに実った稲は重くて大変でした。校長先生也大活躍です。



最後に、コンバインで残りの稲を刈りました。あっという間に刈り取られていくのを見て、子どもたちは、「機械はすごい。」と驚きの声をあげていました。5年生は、「機械がなかったときは、全部手でやっていたんだな。なんて大変な作業だったんだろう。」と感想を話していました。11月のもちつき大会には、今回刈り取ったもち米が使われます。お世話になった方々に感謝していただきたいものです。

また、5年生は、刈り取ったわらを使い、「ものづくり・デザイン科」の学習で、縄なひをする予定です。

はじめに、いねのかりかたを教えてもらいました。田んぼに入ると、体がちくちくしました。かまを当ててかるときに、ザクザクと音がしました。いねは、軽いと思ったのに、重くてびっくりしました。(3年 児童)

ずっとやっていると、少し腰が痛くなりました。昔の人はこんな思いでやっていて大変だなあと思いました。後で、地域の方に稲の縛り方を習いました。教えてくださったことに感謝しています。(5年 児童)